

Unireduce R-35

(ユニレデュース R-35)

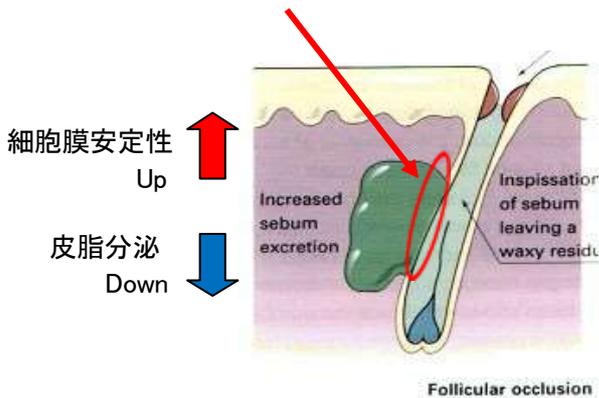
皮脂代謝機能を正常化させる複合体

【特長】 油性肌や頭皮の皮脂を抑制
毛包細胞膜を強化し分泌を持続的に抑える
遊離脂肪酸を減少させる油溶性素材

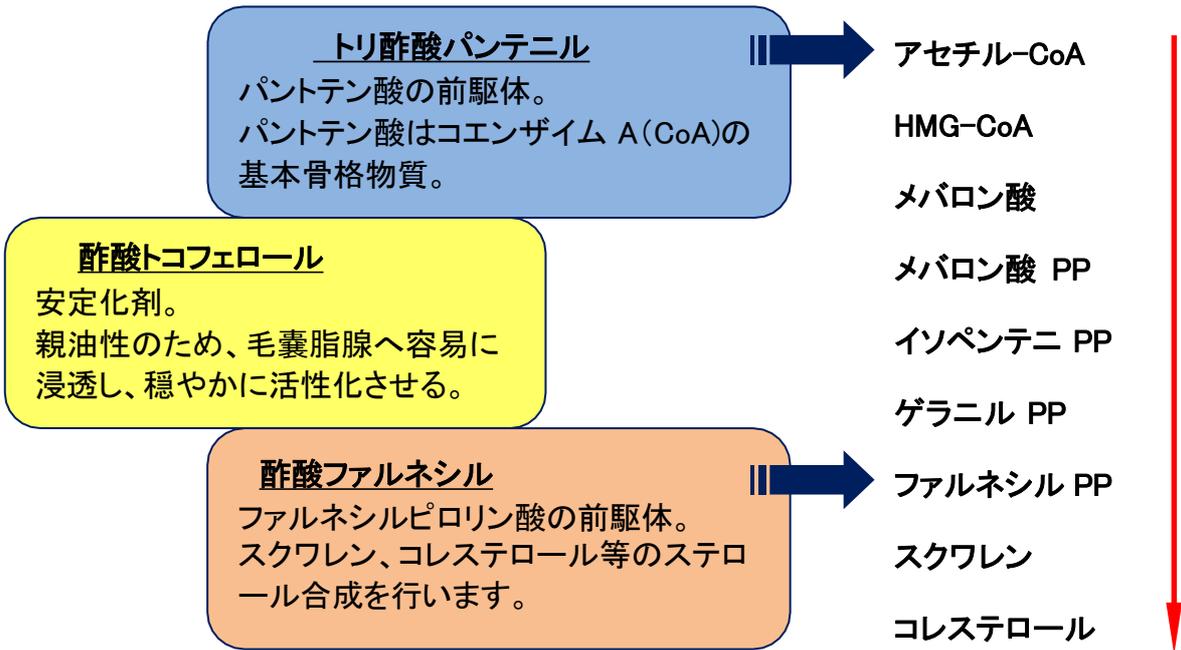
【コンセプト】

脂性肌では、皮脂腺からの過剰な皮脂分泌によって肌がテカリ、また、ニキビもできやすくなります。皮脂過剰分泌の原因は、脂質前駆体の不足と、思春期の過剰な性ホルモンによるコエンザイム A の不足が引き起こす脂質代謝の異常です。正常な脂質代謝のバランスがくずれると、コレステロール・特定の脂肪酸・セラミドが欠乏し、結果として毛包の細胞膜が破壊されて、皮脂増加が起こります。Unireduce R-35 は、不足しがちな脂質代謝の前駆体を補い、バランスのくずれた脂質代謝を正常化します。

Unireduce R-35 により、遊離脂肪酸の割合が減少、細胞膜を構成する脂質の割合が増加します。



脂質代謝経路



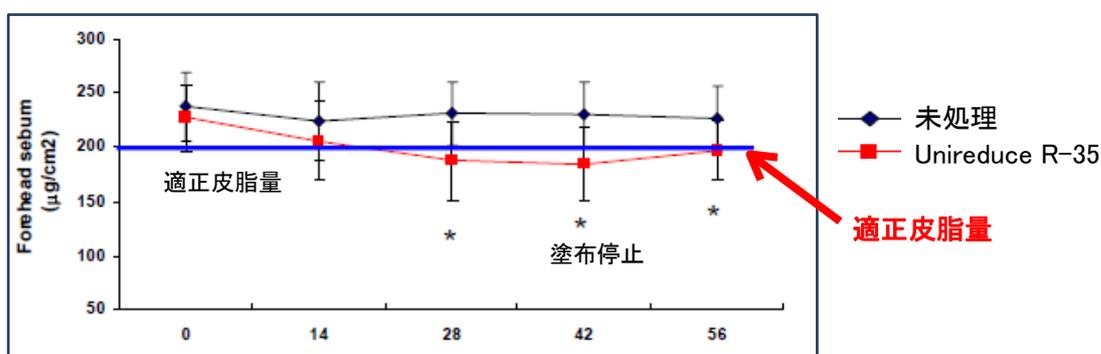
【効果・効能】

トリ酢酸パンテニルと酢酸ファルネシルが、毛嚢脂腺内の脂肪代謝を増加させ、イソプレノイドとステロールの同化を増加させます。

臨床試験：25～35 歳脂性肌女性 25 名による効能試験を実施。

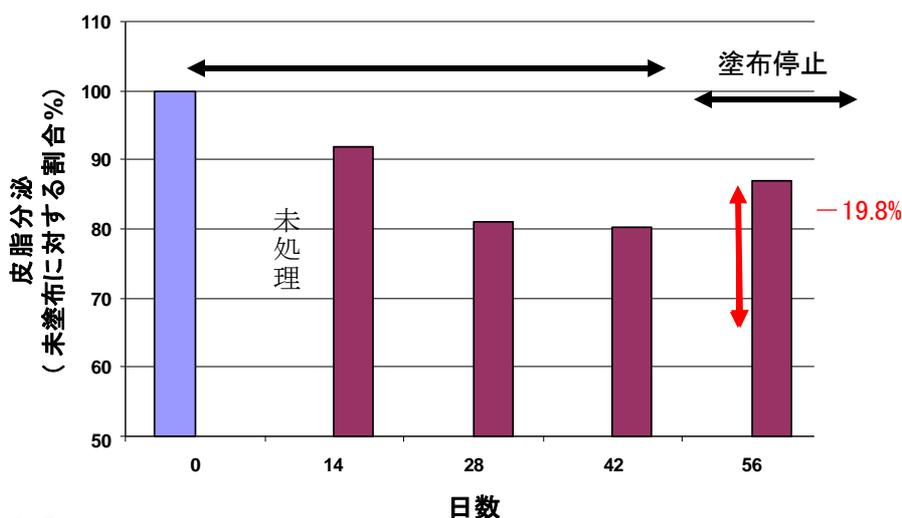
試験方法：Unireduce R-35 を 3% 配合したクリームの塗布

- 額の半分クリームを塗布
- 42 日間塗布する
- 塗布停止後、14 日間の皮脂測定を行う
- 皮脂の含有量を SM810 にて測定



Unireduce R-35 3%配合クリームの塗布開始、42 日後には約 20%の皮脂抑制効果が確認されました。また、塗布停止後も皮脂分泌量を減少した状態に維持します。

Unireduce R-35 クリームを塗布



【商品情報】

商品名：Unireduce R-35 (ユニレデュース R-35)

表示名称：酢酸ファルネシル、トリ酢酸パンテニル、酢酸トコフェロール

推奨配合量：1%–3%

製造元：Givaudan

2009/9/1

これは原材料に関する成分内容の説明、科学的データの紹介等をしており、効能効果を説明、保証するものではありません。また無断使用、無断転載を禁止します。